

加納宣康（監），本多通孝（編）

外科専門医受験のための演習問題と解説 第2集 第1集（増補版）

山口俊晴

がん研究会有明病院・病院長

「簡潔にして要を得ている」という言葉が、本書にはぴったりと当てはまる。常に面倒なことは先送りして、土壇場になって徹夜で仕事を仕上げるのが習いとなっているような受験者にはまさに待望の書である。もちろん、計画的に系統的に準備を着々と進め、自信を持って受験される方もおられると思うが、現場にある若手医師の多忙さはそれを必ずしも許さない状況にしている。

本書は外科専門医試験に合格するための書物である。筆者たちはこれを活用しようとする受験者の現状を知り尽くしているだけに、なにより本書が「簡潔にして要を得ている」ことに留意して筆を進めている。「初版の序」に本多医師のめざすところが、明快に書かれているので本文の前にぜひお読みいただきたい。

『第1集（増補版）』は2013年に刊行された『第1集』を、最新の内容にアップデートし、主に基本問題とその解説を簡明に加えてある。解説は短いが冗長な言葉をそぎ落とし、しかも重要な点はきっちりと盛り込

まれており、無駄がない。写真や図もサイズは小さめだが、驚くほど鮮明なものが使用されており、記憶に残りやすい。最後のほうに、試験直前に時間が十分取れない読者のために、448に及ぶチェックリストが添えられているが、これが秀逸な出来である。外科専門医試験の合格という、最終のゴールに到達するためのダメ押しの部分であり、重要なポイントばかりである。

『第2集』の演習問題と解説は、最近の試験問題では比較的新しいエビデンスに基づいたものもみられるようになったことに対応するために、新たに刊行された。前半は模擬試験として、実際の試験の雰囲気慣れるためにも作られたもので、『第1集（増補版）』を終えた後に挑戦するようになっている。さらに、後半では分野別に、やや難易度の高い問題を掲載しており、これらの問題に挑戦することによりさらに自信が深まる仕組みになっている。まさに「至れり尽くせり」である。

本書が成功している原因は、従来

の型にはまった問題集を、いわゆる権威者が執筆したのではなく、まだ頭の柔軟な若手のトップランナーたちが、斬新なアイデアの下に作成したところにある。また、監修には小生が日頃より敬愛する加納宣康先生が熱意を込めて当たっておられ、本書をさらに信頼性の高いものにして

いる。試験に合格するためばかりでなく、合格の先にあるものを意識して、本書が読者たちに活用されたときこそ、多忙の中執筆した著者諸氏の努力は報われるといえよう。

【第2集】

●B5/頁 264/2017 年

定価：本体 5,000 円＋税

[ISBN978-4-260-03045-8]

医学書院 刊

【第1集（増補版）】

●B5/頁 308/2016 年

定価：本体 5,000 円＋税

[ISBN978-4-260-02495-2]

医学書院 刊